

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響など社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、「名古屋市営交通事業経営計画2023」の理念である「安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄」を目指し、計画に掲げた施策・事業を着実に実施することを基本に、「安全・安心の推進」、「快適・便利の向上」、「まちの活性化への貢献」及び「安定した運営基盤の確立」に重点的に取り組みました。

こうした中、経営状況については、経常損益及び純損益が自動車運送事業は3年連続の赤字、高速鉄道事業は3年振りの黒字となりましたが、両事業とも多額の累積欠損金を抱えており、非常に厳しい経営状況になっています。

■市バス事業

1. 業務量

(1) 車両数	年度末	1,014両
(2) 運転キロ	1日	98,268キロメートル
(3) 乗車人員	1日	295,508人

2. 収支の状況

収益的収支		(税抜 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	経常収入	24,218
	営業収益	17,989
	うち運輸収益	14,496
	営業外収益	6,229
	うち一般会計補助金	6,031
支出	経常支出	25,102
	営業費用	24,725
	うち人件費	13,420
	営業外費用	377
営業収支	△ 6,736	
経常収支	△ 884	
特別収支	—	
純損益	△ 884	
累積欠損金	△ 35,173	

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	資本的収入	2,066
	企業債	1,993
	高速鉄道事業会計出資金	39
	その他	34
支出	資本的支出	3,996
	建設改良費	2,068
	企業債償還金	1,512
	借入金返還金	416
資本的収支	△ 1,930	
企業債残高	5,635	
債務超過	793	

■地下鉄事業

1. 業務量

(1) 車両数	年度末	782両 (135編成)
(2) 運転キロ	1日	185,947キロメートル
(3) 乗車人員	1日	1,147,932人

2. 収支の状況

収益的収支		(税抜 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	経常収入	79,403
	営業収益	71,352
	うち運輸収益	65,481
	営業外収益	8,051
	うち一般会計補助金	4,254
支出	経常支出	75,470
	営業費用	71,383
	うち人件費	26,370
	うち減価償却費	23,843
	営業外費用	4,087
	うち支払利息	3,653
営業収支	△ 31	
経常収支	3,933	
特別償元金償還補助金	2,176	
実質経常収支 (※1)	1,757	
特別収支	—	
純損益	3,933	
累積欠損金	△ 207,981	

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	資本的収入	12,812
	企業債	8,636
	一般会計出資金	2,147
	貸付金返還金	78
	一般会計補助金	1,415
	国庫補助金	210
	その他	326
支出	資本的支出	43,257
	建設改良費	10,960
	企業債償還金	17,558
	平準化償還金	3,086
	特例償還金	2,176
	緩和償還金	9,438
	その他	39
資本的収支	△ 30,445	
資金不足額	△ 52,241	
資金手当償還金	137,451	
実質資金不足額 (※2)	△ 189,692	
企業債残高	370,350	

(※1) 実質経常収支

実質的な経営成績を表すために、一般会計補助金のうち「特別償元金償還補助金」を経常収支から除いたもの。

(※2) 実質資金不足額

実質的な資金不足の実態を表すために、資金不足を補うために発行した企業債の残高を含むもの。